

津軽森林管理署の労働災害防止協議会に参加

令和7年7月24日(木)、青森県大鰐町の東虹貝山国有林内において津軽森林管理署の労働災害防止協議会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。

当日は、弘前労働基準監督署、林業・木材製材業労働災害防止協会青森支部、林業関係団体や津軽署管内の林業事業体、県、市町村担当者など総勢40名が参集しました。

開会式では津軽森林管理署長、弘前労働基準監督署長の挨拶に続いて署担当者から現地概要説明があり、説明終了後に現場請負者により伐倒・集材作業を実演していただき、実演結果等について参加者間で意見交換する流れで進められました。



開会式の様子



伐倒作業の実演

伐倒・集材作業の実演終了後、参加者は伐倒後の伐根がある場所まで移動して、受口の深さやつるの状況を確認。確認結果等について林災防青森支部から講評をいただき、弘前労働基準監督署からは林業における労働災害発生状況や、職場における熱中症対策の強化についてなどの講義をいただきました。また、青森県森林組合連合会から広葉樹の入札結果及び今後の状況について情報提供していただき、青森事務所からも木材需給動向、スギ等4m採材の推進、局管内における労働災害発生状況等について説明させていただきました。青森事務所では、今後も各署で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



伐採後の伐根を参加者が確認



広葉樹についての情報提供